主にＡＹＡ世代がん患者を対象とした現在の取組①

資料３

■ 東京都若年がん患者等生殖機能温存治療費助成事業（Ｒ３年度～）

【目　的】

将来、子供を産み育てることを希望する小児、思春期・若年がん患者等に対して、原疾患の治療に際して行う生殖機能温存治療及び妊娠のための治療に係る費用を助成することにより、患者が将来に希望を持って治療に取り組めるよう支援

【概　要】

がん等の治療により生殖機能が低下する／失うおそれがある患者が行う生殖機能温存治療（受精卵、卵子、卵巣組織及び精子の凍結保存）、凍結組織の保存費用及びがん治療後の妊娠のための治療に必要な費用を助成

【実　績】

- 申請受付開始　　令和３年９月８日（対象は令和３年４月１日以降の治療分）
- 令和３年度助成決定件数

①　生殖機能温存治療

注１：胚と未受精卵子を同時に凍結した場合の実績は胚凍結に含める

注２：卵巣組織再移植の実績はなし

	全体	年齢階級別						
		0～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～42歳
総計	169件	4件	10件	2件	21件	46件	54件	32件
胚（受精卵）凍結	70件				4件	21件	30件	15件
未受精卵子凍結	51件		2件		7件	12件	16件	14件
卵巣組織凍結	7件	3件	2件			1件		1件
精子凍結	40件	1件	6件	2件	9件	12件	8件	2件
精子凍結（精巣内精子採取）	1件				1件			

②　組織等の凍結更新

・・・実績なし

③　妊娠のための治療

総計：３件（内訳右表）

凍結した胚（受精卵）を用いた治療	2件
凍結した卵巣組織を用いた治療	1件
凍結した未受精卵子を用いた治療	0件
凍結した精子を用いた治療	0件

主にＡＹＡ世代がん患者を対象とした現在の取組②

■ ＡＹＡ世代がん相談情報センターの開設（Ｒ３年度～）

【設置病院】

【学校法人聖路加国際大学
聖路加国際病院】
住所：〒104-8560
東京都中央区明石町 9-1
電話：03-5550-7098
受付時間：9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

【東京都立小児総合医療センター】
住所：〒183-8561
東京都府中市武蔵台 2-8-29
電話：042-312-8191
受付時間：9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

【目　的】

- ＡＹＡ世代がん患者が必要な相談を受けられるようにするとともに、適切な相談先につなげる。
- 相談員同士の事例検討等の交流機会を設け、拠点病院等全体での質の高い専門的な相談支援体制を構築する。
- ＡＹＡ世代のがん患者同士が交流できるイベントを開催などし、適切な支援を受けられるよう、必要な体制を整備する。

【概　要】（令和３年９月に開設）

- ＡＹＡ世代がん患者からの相談を多く受ける、都内がん診療連携拠点病院等の中から指定

【主な取組】

≪取組①≫
「Ｔｏｋｙｏ　ＡＹＡ　Ｃａｎ　ネットワーク」の開催
（令和３年度　２回開催）

【対象】ＡＹＡ世代がん診療の相談支援に関わる医療従事者
【内容】医師及び相談員同士の情報交換や交流

【テーマ】
（第一回）ＡＹＡ世代がん患者の悩みを知り、
相談支援の実際を知る
（第二回）がん生殖の基礎について学び、
意思決定支援と医療連携について考える

【実績（参加人数）】
第一回（令和３年９月２５日開催）：　８２名
第二回（令和４年１月１５日開催）：２７５名

≪取組②≫
「ＡＹＡキャンサーサバイバーズミーティング」の開催
（令和３年度　２回開催）

【対象】ＡＹＡ世代がん経験者
【内容】グループレクチャーやトークショー、
患者同士の交流機会の確保

【テーマ】
（第一回）新型ｺﾛﾅﾜｸﾁﾝ　ＡＹＡ世代がん向け最新情報
（第二回）がんとお金の疑問にお答え！

【実績（参加人数）】
第一回（令和３年９月５日開催）：２８名
第二回（令和４年２月６日開催）：２２名

※各回ともに、定員４０名